島根県東部の農林業

令和２年７月

島根県東部農林振興センター

島根県東部の農林業

〇東部管内の69％を森林が占め、農地の面積は9％。
〇管内の農家戸数は２万戸（県全体3.3万戸の62％）、そのうち専業農家の割合は県全体に比べやや低く、兼業農家の割合が高くなっている。
〇農業就業人口に占める65歳以上の割合は、県全体に比べやや低いものの高齢化率は77％と高い。

■主な気象条件

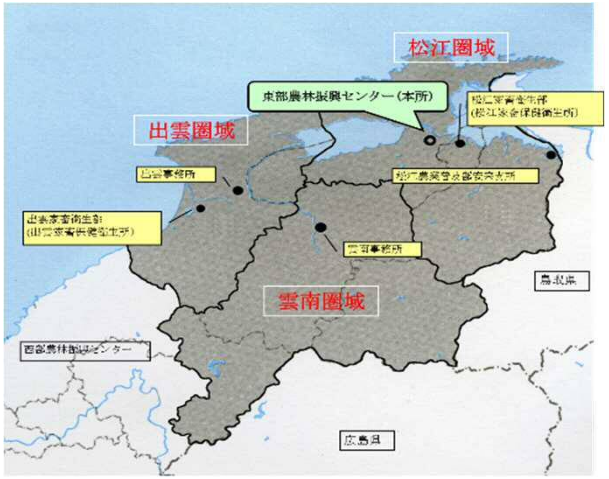
	松江市（平坦地）	赤名（中山間）	東京
平均気温 ℃	14.9	11.5	15.4
日照時間 hr	1696.2	1360.5	1876.7
降水量 mm	1787.2	2023.8	1528.8
最深積雪 cm	20	75	6

出典：気象庁HP 平年値1981-2010年

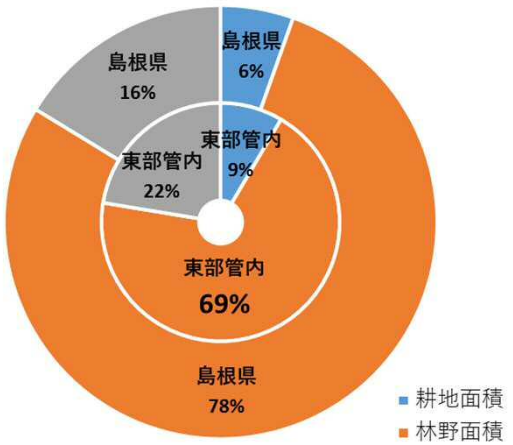
■管内圏域別指標

圏域	人口（人）	総面積（千ha）
松江	241,146	99.4
出雲	172,784	62.4
雲南	52,864	116.4
管内計	466,794	278.2
島根県計	673,891	670.8

出典：人口　推計人口年報（R元.10.1現在）
総面積　国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（R2.1.1現在）

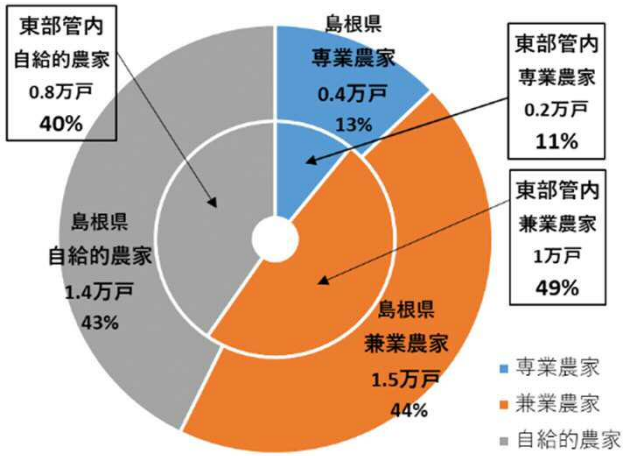


■管内における耕地と林野の割合



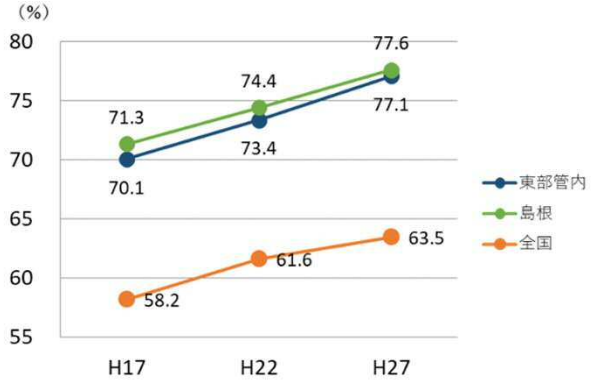
出典：耕地面積は作物統計調査市町村別データ（R元年）
林野面積は2015年農林業センサス

■農家の分類



出典：2015年農林業センサス

■農業就業人口の高齢化率（65歳以上）



出典：農林業センサス（2005、2010、2015）

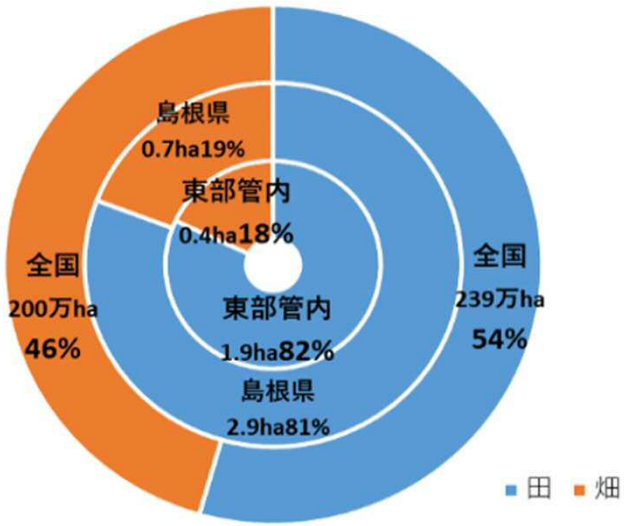
島根県東部の農林業

○耕地面積に占める水田の割合は、県全体と同様に82％と高く、米需要の減少や販売価格の下落の影響を大きく受けやすい構造が課題。

○農業産出額は県全体の55％を占め、部門別では米・野菜は69％、花きは80％と高い。

○耕地面積の約70％が松江・出雲圏域で占めるが、産出額シェアは松江・出雲圏域の耕種部門が約54％と高く、雲南圏域では畜産部門が約15％と高い。

■耕地面積に占める水田の割合



出典：農林水産省作物統計調査市町村別データ（R元年）

■農業産出額

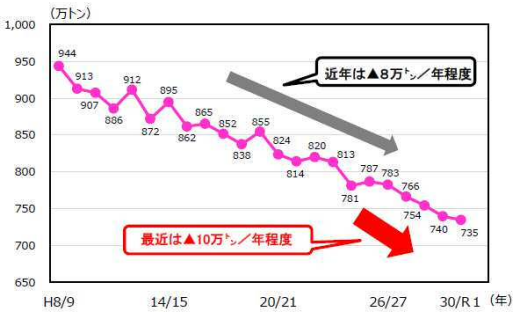
単位：億円、％

市町	農業産出額	耕種（内訳は主なもの）					畜産（内訳は主なもの）			
			米	野菜	果実	花き		肉用牛	乳用牛	鶏
松江市	50.7	45.7	22.2	14.1	1.8	6.1	5.0	2.1	1.5	1.4
出雲市	124.7	96.5	50.8	19.5	18.4	2.8	28.2	9.3	17.2	0.9
安来市	49.7	40.4	24.4	9.4	3.0	2.5	9.3	4.1	3.3	1.5
雲南市	50.7	27.6	18.5	5.8	1.6	0.9	23.1	5.8	5.0	11.8
奥出雲町	33.3	22.4	16.8	4.3	0.4	0.4	10.9	9.3	1.3	0.3
飯南町	27.3	11.0	7.9	2.4	0.2	0.1	16.4	1.4	8.6	0.0
管内計	336.4	243.6	140.6	55.5	25.4	12.8	92.9	32.0	36.9	15.9
品目割合（品目額/産出額）	100.0	72.4	41.8	16.5	7.6	3.8	27.6	9.5	11.0	4.7
割合（管内/県）	55	66	69	56	69	80	38	39	44	36
島根県計	612	369	204	99	37	16	242	83	84	44

出典：市町は平成30年市町村別農業産出額（推計）、県計は平成30年生産農業所得統計

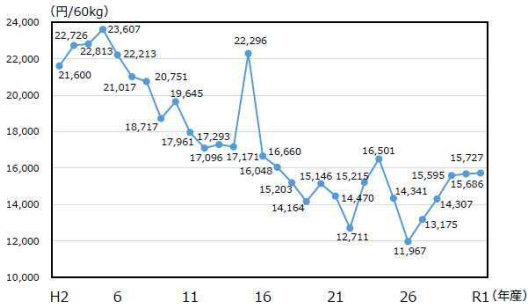
■参考

【主食用米の需要量の推移】



資料：農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」

【米の販売価格の推移】



資料：（財）全国米穀取引・価格形成センター入札結果、農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注１：平成２～17年産までは（財）全国米穀取引・価格形成センター入札結果を元に作成。
注２：平成18年産以降は出回り～翌年10月（平成30年産は令和元年８月まで、令和元年産は令和元年10月まで）の相対取引価格の平均値。
注３：センター価格は、銘柄ごとの落札数量で加重平均した価格であり、相対取引価格は、銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

■市町ごとのシェア

（単位：％）

市町	耕地面積のシェア		産出額のシェア		耕種		畜産	
松江市	19.4	69.2	15.1	66.9	13.6	54.3	1.5	12.6
出雲市	32.9		37.1		28.7		8.4	
安来市	16.8		14.8		12.0		2.8	
雲南市	15.1	30.8	15.1	33.1	8.2	18.1	6.9	15.0
奥出雲町	10.8		9.9		6.7		3.2	
飯南町	4.9		8.1		3.3		4.9	
管内計	100.0	100.0	100.0	100.0	72.4	72.4	27.6	27.6

（注）管内耕地面積および産出額に対する各市町のシェア率を試算したもの
試算の根拠となるデータは、耕地面積（作物統計市町村別データR1年）、
産出額（平成30年市町村別農業産出額（推計））

島根県東部の農林業

〇販売金額別農家数は、50万円以上1000万円未満の中間層が約38％と県全体の35％に比べやや高いが、1000万円以上の割合は1.8％と低い状況。

〇認定農業者数は県全体の63％を、集落営農組織数は65％を占めている。

〇新規就農者数は、近年およそ80人で推移し、そのうちの約７割が雇用就農、松江・雲南圏域ではその割合が高い。

■販売金額別農家数

販売額	戸数				備考
	東部管内		島根県		
1000万円以上	225	1.8%	349	1.8%	販売農家
500万円以上1000万円未満	326	2.6%	457	2.4%	
300万円以上500万円未満	399	3.2%	563	2.9%	
50万円以上300万円未満	4,010	32.5%	5,689	29.7%	
50万円未満	7,394	59.9%	12,115	63.2%	
（30a未満）	8,372戸		14,340戸		自給的農家
15万円未満かつ10a未満	12,662戸		23,041戸		土地持ち非農家

出典：2015年農林業センサス

■担い手の状況

（単位：経営体数、組織数、社）

圏域	認定農業者数		集落営農組織数		農業参入企業
		農業法人		集落営農法人	
松江	211	48	108	34	17
出雲	387	102	125	67	19
雲南	185	96	192	60	15
管内計	783	246	425	161	51
島根県計	1,237	394	651	247	108

出典：農業経営課調査（平成31年3月末）

■担い手（新規就農者）の状況

圏域		H26	H27	H28	H29	H30	H26-H30	
		（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（%）
松江		18	20	20	24	27	109	100
	自営	7	6	4	7	4	28	26
	雇用	11	14	16	17	23	81	74
出雲		40	42	31	34	40	187	100
	自営	16	15	11	7	13	62	33
	雇用	24	27	20	27	27	125	67
雲南		22	25	28	22	15	112	100
	自営	7	4	6	3	5	25	22
	雇用	15	21	22	19	10	87	78
管内計		80	87	79	80	82	408	100
	自営	30	25	21	17	22	115	28
	雇用	50	62	58	63	60	293	72
島根県計		171	169	173	163	176	852	100
	自営	59	48	48	40	56	251	29
	雇用	112	121	125	123	120	601	71

出典：農業経営課調査（各年度末の数値）

島根県東部の農林業

〇ほ場整備については、田は出雲市で90％以上と高く、次いで雲南圏域で70％台と高い。大区画の整備率でみると安来市で約15％と高い。畑地では、国営開発地を有する奥出雲町で約85％と高い。
〇主な獣害による被害額をみると、イノシシ被害が最も大きく約3.4百万円の被害を及ぼしている。

■ほ場整備率（H30）

（単位：％）

市町	田	大区画	畑	計
松江市	64.3	0.7	25.2	52.6
出雲市	91.4	5.4	39.7	84.3
安来市	57.0	14.6	34.1	53.7
雲南市	77.5	2.3	39.0	71.0
奥出雲町	73.8	0.1	84.9	75.8
飯南町	78.8	1.2	12.8	70.0
島根県計	76.9	3.8	40.6	69.9

出典：しまねの農業農村整備2019（島根県農林水産部農村整備課・農地整備課）、＊大区画：1区画50a以上

■主な獣害による被害額（R1）

（単位：千円）

市町	イノシシ	ヌートリア	シカ	その他
松江市	3,968	1	0	93
出雲市	5,888	0	590	0
安来市	7,691	161	0	120
雲南市	12,170	98	0	172
奥出雲町	2,847	0	0	85
飯南町	1,128	0	0	0
管内計	33,692	260	590	470

＊暦年、東部農林振興センター調べ

■多面的機能支払制度の実施状況（H30）

市町	組織数	取組面積
松江市	83	2,284
出雲市	88	5,378
安来市	97	2,185
雲南市	91	1,943
奥出雲町	9	2,558
飯南町	22	1,085
管内計	390	15,433
島根県計	656	22,651

出典：しまねの農業農村整備2019（島根県農林水産部農村整備課・農地整備課）、数値は農地維持支払交付金

■中山間地域等直接支払制度の実施状況（H30）

市町	協定数	取組面積
松江市	41	285
出雲市	76	697
安来市	81	873
雲南市	193	1,731
奥出雲町	122	2,025
飯南町	55	1,015
管内計	568	6,626
島根県計	1184	12,986

出典：島根県農林水産部農林水産総務課ホームページから集計

島根県東部の農林業（特徴的な事例）

■平坦地

(*)安来：のきの郷（１区画１haが基本）

能義平野では100ha規模の大規模集落営農法人が10年で6組織誕生

(*)中海干拓：キャベツ団地

イオングループ（イオンアグリ創造(株)）の農業参入によるキャベツ栽培（生食・加工用）

■中山間地

(*)飯南：夏秋トマト

鹿児島県の農業法人がトマトのリレー出荷（時期をずらした出荷）を目的に島根に進出

ドローンを活用した生育診断・防除

斐川地域は、担い手への農地集積率が80％と高いが、担い手の経営安定や労力不足を解消するため、更なる水田フル活用により農地集積率125％を目指し、スマート農業の実証に取り組んでいる。

雲南市ブランド米振興大会

雲南地域は、中山間地帯の特徴を生かした良質米生産地として知られている。
H28から始めた「プレミアムつや姫」は61ha（55戸/R2.3）まで拡大

（注）事例（＊）の出典は、農林水産部「島根県農業の現状・課題と対応（平成31年4月）」

島根県東部の農林業（特徴的な事例）

■水田園芸(*)

JAしまね出雲ブロッコリー部会

[出雲市平田町　11月頃]

・旧平田市を中心に、昭和62年から、女性でも取り組みやすい収益性の高い品目として、ブロッコリー栽培が拡大。

・現在、部会員83人で1.3億円を売り上げ、「かあちゃんブロッコリー」としてブランドが確立しており、契約販売など安定的な販路も確保。

■美味しまね・GAP (*)

ＪＡしまね出雲アスパラガス部会

栽培状況

商　品

・平成３０年３月に部会４０名中１１名でグループを作り、ＧＡＰ認証を先行取得。

・平成３１年４月からは、新たに２５名が団体認証に加わり、部会員の９割がＧＡＰに参加。

■有機農業(*)

赤江・オーガニックファーム(安来市)

[安来市赤江地区のハウス団地]

・構成員の5名は、全員がＵＩターン者。

・有機栽培に取り組む仲間を増やすため、研修生を積極的に受入れながら構成員を増やし生産を拡大。（現在のハウス面積1.7ha）

・有機JAS認証を取得し、共同出荷により関西方面を中心に販路を拡大。

■肉用牛生産

雲南地域の和牛生産

・雲南地域は、和牛主産地として良質な奥出雲和牛を生産

・近年では、畜産総合センターを核として集落営農組織や酪農家との連携による新たな和牛生産システム構築に取り組んでいる

（注）事例（＊）の出典は、農林水産部「島根県農業の現状・課題と対応（平成31年4月）」

島根県東部の農林業（特徴的な事例）

■新規就農

なかうみプロジェクト（安来市）(*)

［リースハウス］

［イチゴ収穫風景］

・安来市では農業者、市、ＪＡ、普及部で構成する「なかうみプロジェクト」を結成。
・「本気でイチゴやろう」をキャッチコピーに、イチゴの就農パッケージを作成。県外の就農フェア等で新規就農者を積極的に確保。
・リースハウスを活用しH27以降7名が新規就農、80aで新たにイチゴ栽培が開始。

■集落営農

法人化・広域連携（雲南圏域）

・集落営農組織の法人化、組織間連携などすすめ、組織の経営力強化を目指している。
・雲南地域では、H26以降新たに5法人が設立され65法人（R2.3）となった。

農業士会との連携（松江市）

・新規就農者の早期の経営安定を実現するため、松江管内では新規就農者と農業士会との合同の視察研修を行うなど支援を行っている。

宍道湖西岸地区（出雲市）

［サポートセンターで導入した
汎用コンバインによる小豆収穫］

・大規模圃場整備が進む宍道湖西岸地区では、サポートセンター（H31.3.18設立）の機能強化支援や高収益作物導入（小豆、小麦、ブロッコリー等）に向けた支援を行っている。

（注）事例（＊）の出典は、農林水産部「島根県農業の現状・課題と対応（平成31年4月）」

島根県東部の農林業（特徴的な事例）

■品目

大根島の牡丹（松江市）

島内で栽培される353品種を網羅した牡丹品種データベースを活用した商談会など、豊富な品種構成を生かした販路拡大が進められている。
アメリカ、オランダ、台湾、ロシア等へも牡丹苗が輸出されている。

母の日の主力商品アジサイ（出雲市など）

万華鏡(*)

銀河(*)

茜雲(*)

グラデーションがかった花がコンパクトに集まる「万華鏡」と、白く縁取られた花が散りばめられた「銀河」は、花の新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」において、最高賞となる「フラワー・オブ・ザ・イヤー」を、それぞれ2012年、2016年に受賞。

一般品種に比べ２～３週間早い４月上旬からの出荷が可能。草姿がコンパクトかつ強健なことから管理作業の大幅な省力化が可能。

令和２年度から収穫が始まる県オリジナル品種‘神紅’（出雲市など）

神紅(*)

糖度２０％以上とシャインマスカット（同１８％以上）より高く、他品種より鮮やかな赤色に仕上がる。

県内酒造会社も期待する県オリジナル酒米（安来市など）

縁の舞(*)

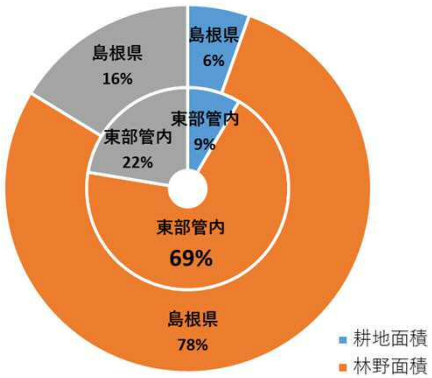
「山田錦」と比べ１０％以上収量が多く、粒が大きく品質も優れ、収穫時期に倒れにくいなど、栽培しやすい。

（注）事例（＊）の出典は、農林水産部「島根県農業の現状・課題と対応（平成31年4月）」

島根県東部の農林業

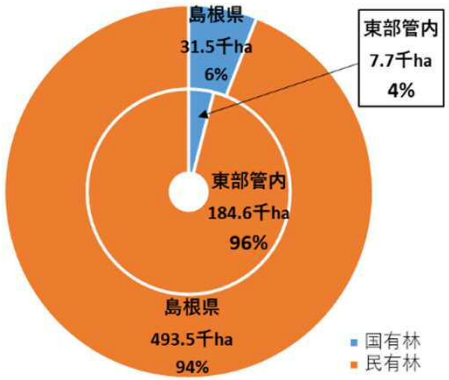
○東部管内において、総面積に占める林野の割合は69%で、そのうちの96%が民有林。
○民有林のうち、林齢が40年以上の割合は、面積（針葉樹＋広葉樹）では78%、蓄積（針葉樹＋広葉樹）では82%であり、管内森林資源のほとんどは主伐期にあるといえる。

■林野面積の割合



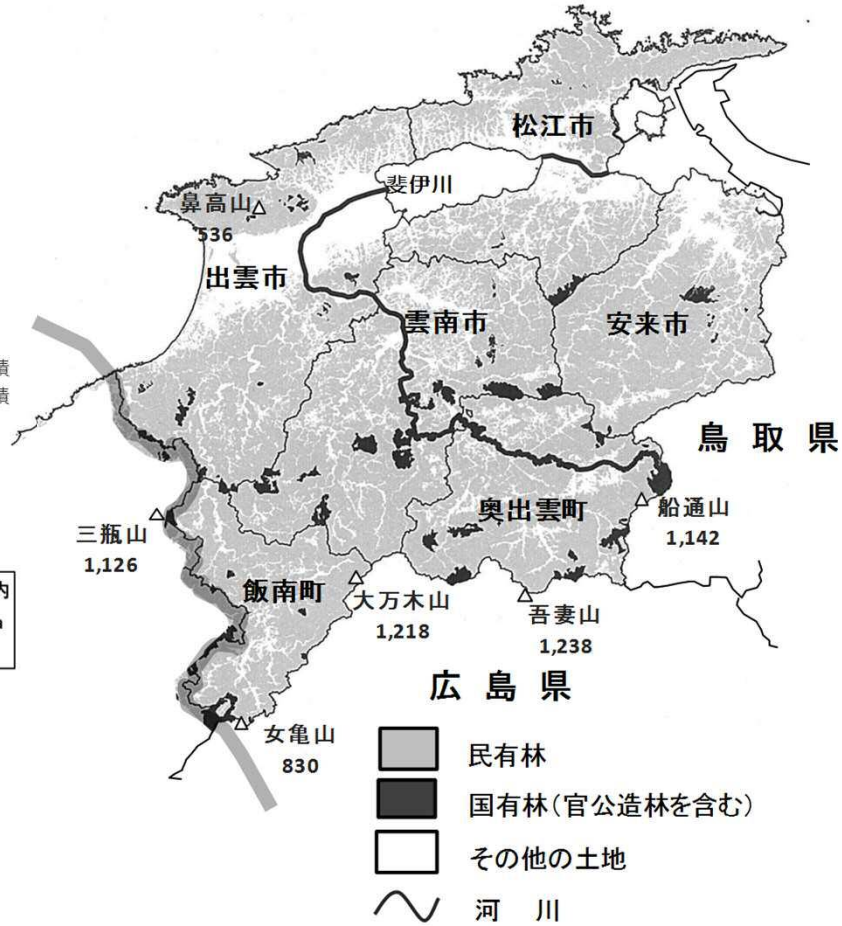
出典：耕地面積は作物統計調査市町村別データ（R元年）
林野面積は2015年農林業センサス

■民有林の割合

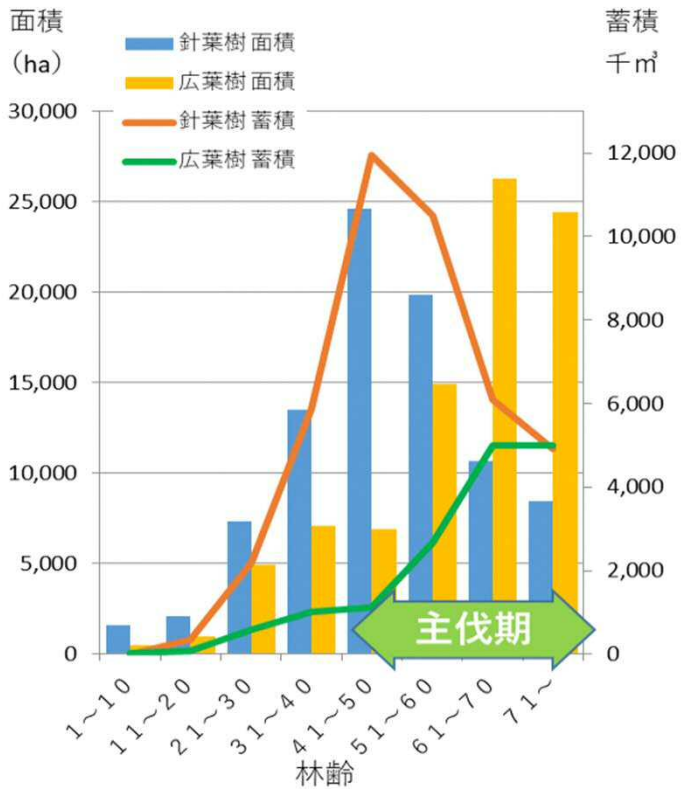


出典：2015年農林業センサス

島根県東部の林野分布概況



■管内民有林森林資源構成状況



出典：島根県農林水産部森林整備課「森林資源関係資料（H30年度末現在）」

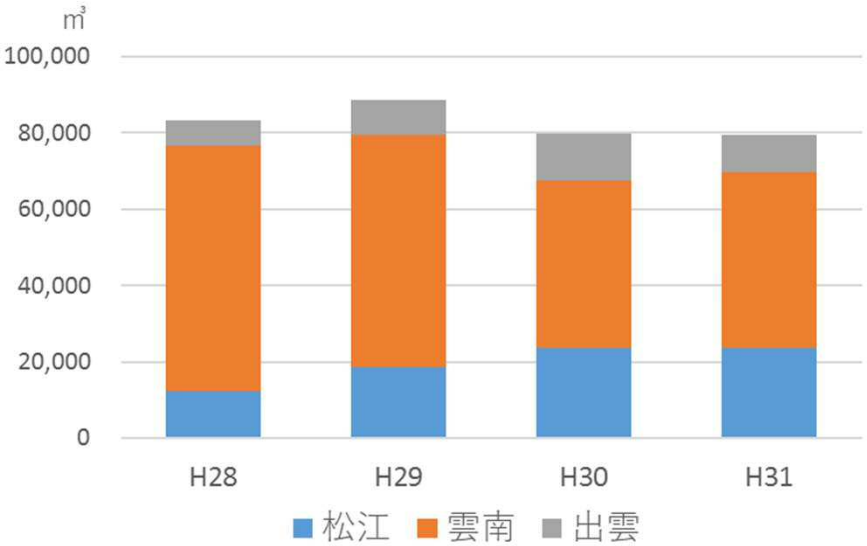
島根県東部の農林業

〇森林経営計画に基づく原木生産量は、近年80千㎥で推移しており、そのうち約58%を雲南圏域が占める。

〇管内の林業就業者数は453人（林業事業体数29）で県全体の約47%を占める。

〇主伐期を向える管内森林の木材生産量を高めるためには、林業就業者の確保が必要であり、農林大学校林業科への入学者確保を図る必要がある。

■森林経営計画に基づく原木生産量



出典：東部農林振興センター調べ

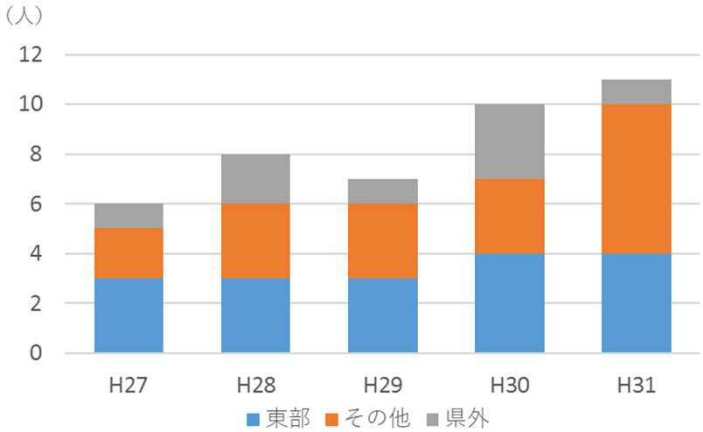
■林業事業体数および林業就業者数

（単位：事業体、人）

市町	林業事業体	うち認定事業主	林業就業者	うち認定事業主が雇用する林業就業者
松　江　市	7	7	95	95
出　雲　市	11	7	139	127
安　来　市	2	2	63	63
雲　南　市	8	6	117	112
奥出雲町	1	1	39	39
飯　南　町	0	0	0	0
管　内　計	29	23	453	436
島根県計	71	50	960	889

出典：東部農林振興センター調べ、県計は林業課調べ（令和2年3月31日現在）

■島根県立農林大学校（林業科）への入学者推移



出典：島根県農林水産部「令和元年度島根県の森林・林業・木材産業」

島根県東部の農林業

〇管内の民有林の約４割に当たる73千haが保安林に指定されている。
〇そのうち約９割の63千haが水源かん養保安林となっている。
〇森林の持つ機能の維持・向上を図るため保安林内において災害の復旧・予防が行われている。

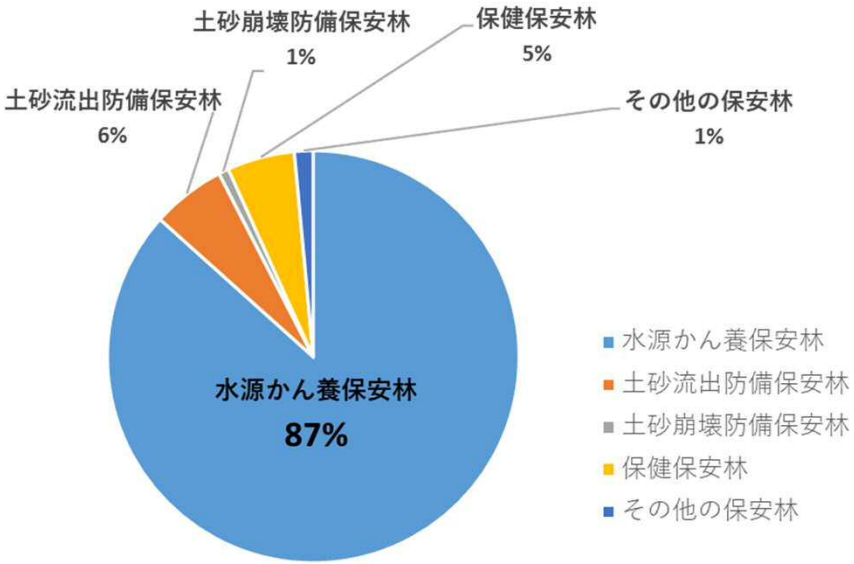
■民有林保安林の指定状況（令和２年３月末現在）

（単位：ha）

市町	保安林指定実面積	保安林指定延べ面積	水源かん養保安林	土砂流出防備保安林	土砂崩壊防備保安林	保健保安林	その他の保安林
松　江　市	1,368	1,372	595	342	120	29	261
出　雲　市	7,761	7,763	4,747	1,361	277	616	762
安　来　市	13,480	13,480	12,875	489	56	29	31
雲　南　市	18,221	18,304	16,531	773	103	884	13
奥出雲町	17,553	17,565	16,371	973	13	209	0
飯　南　町	14,178	14,178	11,810	275	11	2,082	1
管　内　計	72,561	72,663	62,929	4,213	580	3,849	1,067
島根県計	170,524	175,105	153,277	12,071	1,282	6,269	2,207

出典：東部農林振興センター調べ

未然防止
復旧工事



［土砂流出防備保安林］　谷止工

島根県東部の農林業（特徴的な事例）

【出雲】(*)

○県内に唯一の木材製品市場があり、県内の工務店等へ柱や板を販売

○短期間で建築工事をするために木材の継ぎ手をあらかじめ加工するプレカット工場が２工場あり、県内だけでなく関西圏域へも出荷

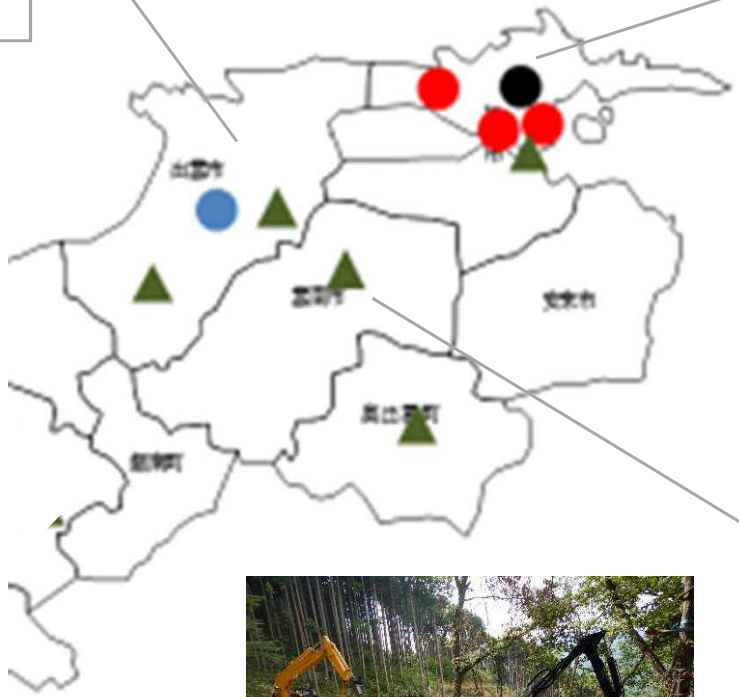
［合板（松江エヌエル工業）］

【松江】(*)

○Ｂ材を大量消費する合板工場が３工場

○木質バイオマス発電所があり、燃料の97％に県内産のチップを使用

［島根県産木材ストックヤード］
出雲木材市場内



［松江バイオマス発電］

［プレカット工場（須山木材）］

［高性能林業機械による原木生産］

【雲南】(*)

○県内で最も熱心に林業に取り組んできた（広葉樹を針葉樹に転換）地域であり、人工林率が最も高い（50％）

○良質な原木が多く、その一部は、製材の盛んな益田の製材工場へ直送

（注）事例（＊）の出典は、「島根県林業の現状・課題と対応（平成31年4月）」

島根県東部の農林業（特徴的な事例）

■低コスト

林業専用道（木材運搬用の道）の普及(*)

・今後の整備の中心を林道から林業専用道に転換することで、１ｍ当たりの開設単価を抑え、結果的に限られた予算内で延長を伸ばし、生産エリアを拡大。

飯南町（H30年12月供用開始）

林業専用道	（比較）	林道
８万円/m	費用	25～40万円/m
３ｍ	幅員	３～４ｍ
15km/h	設計速度	20～40km/h
不可（林業専用）	一般通行	可

低コスト造林に資するコンテナ苗生産（スギ・ヒノキ）

［大原森林組合　委託苗圃］

・再造林コストの低コスト化に向け、コンテナ苗を利用した低密度植栽を進めています。
・コンテナ苗は、1年を通して植栽が可能であり、活着率も高く、専用器具を用いることで1日当たりの植栽本数も多くなるのが利点です。

■高品質・高付加価値木材製品の出荷拡大

高耐久化天然無害木材「E’s－WOOD」(*)

※H29施設整備
H30生産開始

出雲市内の福祉施設のフェンスに使用

シロアリ等の防虫性能に優れていながら、薬剤を一切使用していないため、危険な有害物質を発することがない。

■キノコの生産振興

［エノキダケ・県オリジナル品種「黄雲」］

・エノキダケ県オリジナル品種「黄雲」は、中山間地域研究センターが開発し、奥出雲町ではH30.12から販売を開始。
・きのこは中山間地域の主な産物でもあり、オリジナル品種の導入により販売PRと販路拡大に繋げていく。

（注）事例（＊）の出典は、「島根県林業の現状・課題と対応（平成31年4月）」